

# こくふっこ

令和5年度  
R5. 9. 19  
上越市立国府小学校



## 節目を大切に

校長 笹川 隆

2学期が始まりました。80日間という、学校の一年では一番長い学期です。どの子どもめあてや目標をもち、大きく自分を成長させてほしいと思っています。

8月29日の始業式で、私は竹竿を子どもたちに見せながら、次のように話をしました。

「竹には節と稈（かん・中空の茎）があります。柔らかい稈の部分は、どんどん伸びていく部分です。一方堅い節は成長しません。（竹には60ほどの節がありますが、筍の時からすでに節は全部できていて、数は変わらないそうです。）では、成長しない節は何のためにあるのか？竹全体が柔らかい稈だけでできていたとしたら、強い風や冬の雪の重みで竹は折れてしまうでしょう。節があるからこそ竹はしなやかで強く、そして大きく成長できるのです。人が生きていく中で、この節に当たる、ものごとの区切りとなる大事な時があります。2学期の始めはこの「節目」であること、「節目」にしっかりと自分を振り返り、具体的なめあてや目標をもつことが大切です。」



子どもたちがどんなめあてや目標を考えたのか、是非ご家庭で話題にしてみてください。では、私はどんなめあてを立てたのか・・・紹介します。

### ★校長のめあて

2学期の終わりには「学校に行くのが楽しい」という子どもを100パーセントに近付ける。

次のグラフは、1学期学校評価の児童アンケートの結果の一部です。（他の項目の結果については、別ページをご覧ください。）

質問1：学校に行くのが楽しい。（数字は%）



1学期の終わりには、30名あまりの子どもが「あまり楽しくない」と感じていたようです。これには様々な理由があるのでしょうか。グランドデザインにも示してあるように、国府小学校では「楽しい学校♪」を目指しています。子どもたちの本音を聞きながら、個々の理由や事情を明らかにするとともに、子どもたち自身に考えさせ、子どもたちが自身の手で「楽しい学校♪」づくりを目指していけるよう、職員みんなで、知恵を絞っていきたいと考えています。

## < 9月の学校教育活動の様子 >

### 9月5日(火)全校集会

9月5日に全校集会を開き、2学期のめあてを発表を行いました。

各学年の代表児童から、2学期は大きな行事も予定されていることから、行事が楽しみなことやその行事に向けて頑張りたいこと、また学習や生活で取り組みたいことについて、しっかりとした発表を聞くことができました。

また、生活指導部から、登下校中の安全な歩き方についての指導をしました。

通学路を1列で歩くこと以外にも、歩く際に気を付けなければならないことについて確認しました。

地域の方からの「歩きながら石を投げたり蹴ったりしている様子が見える」という情報から、このことについても確認しました。

石を投げたり蹴ったりしたらどうなるかを子どもたちに考えさせ、改めて人や物にあたったときに、どんな危険があるかについて想像させました。

まだまだ暑い日が続きそうですが、子どもたちが安全に生活できるよう、しっかりと指導してまいります。地域、保護者の皆様からの見守りもよろしくお願いいたします。

### 各学年の活動から

校外学習(9月6日)

～うみがたり見学～

キャリア教育の一環として「うみがたり」の見学を行いました。

うみがたりで働くスタッフの方から話を聞き、事前に考えてきた質問をするなど、うみがたりでの仕事や働く人の気持ちについて考えることができました。

またお話の後にはイルカショーの見学もすることができました。

館内見学では、興味のある場所へ行き様子を見たり、タブレットで写真を撮ったりしてきました。

学校近くにある施設見学を通して、働く人の思いに触れるキャリア学習となりました。



2年生

総合的な学習の時間(9月6日)

～災害の話 自然災害が起こったら～

5年生は総合的な学習の時間に、近年の自然災害多発状況を受けて、災害について学び、自分たちができる日頃の備えや安心安全な地域づくりについて考える学習を進めています。

今回は上越市社会福祉協議会より講師をお招きして、学習会を行いました。

初回の学習会として、まずはこの直江津地域で起こりうる自然災害は何が考えられるか、災害によってどんな被害が想定されるかについて学びました。

自分たちの住む地域を題材として、家庭や地域、学校における防災について、自分ごととして学んでいくことを期待しています。



5年生